

日本ユーラシア協会とは  
旧ソ連邦に住む諸国民との  
相互理解と友好を進める  
(旧) 日ソ協会の統一した名  
称です

# 日本とユーラシア

## JAPAN-EURASIA SOCIETY

愛知版 No. 653  
(ニュース、投稿は下記へ)  
〒461-0004  
名古屋市中区葵1-22-26  
日本ユーラシア協会愛知県連合会  
電話 052-508-4368

メールアドレス eurasia\_aichi@yahoo.co.jp ホームページ https://eurasia-aichi.beet.jp

<<H E T B O Y H E !>>

### 第69回愛知県連総会

6月2日(日) 民主会館2階ホール

### 第34回ロシア兵墓地慰霊祭でのあいさつ

日本ユーラシア協会愛知県連会長 杉浦一孝

来たる6月2日に第69回愛知県連総会を行います。愛知県連総会を行います。13時から「私のユーラシア『探検』」と題して、これを今村栄一さんの講演を行います。

開会にあたりまして、主数にのぼるものと思われ、本年2月29日の年次教書演説において、侵略戦争であるロシアのプーチン政権に対し、戦争反対の声をあげて、ロシア軍のウクライナからの撤退を要求し続けること、極寒の地、

休憩をはさみ14時15分からは向こう一年の活動をどのように進めるのかを真剣に自由に話し合いたいと思います。この一年、愛知県連はプーチンによるロシア軍のウクライナ侵略の影響を大きく受けながらも、コロナ規制緩和を追い風に様々な活動を行ってまいりました。しかし我々愛知県連を取り巻く状況は大変厳しいです。この状況下で一歩でも前進するために多くの方の出席を賜り、活発な議論ができればと考えております。

この機関紙に返信用はがきをお待ちしております。

総会は6月2日(日)13時~16時(ピロシキの販売は12時から) 民主会館2階ホールで行います。

大勢の会員皆様方のご出席をお待ちしております。

は昨今の情勢に触れ、日露両国の関係の「雪どけ」が早く訪れてほしいと述べられました。

その後は名古屋ハリストス正教会の伊藤司祭および聖歌隊の皆様による追悼の祈りと聖歌が行われ、続いて参加者全員による献花が行われました。最後に合唱団「ミール」による献歌「小さいくみの木」「ふりまき」が捧げられ、川北理事の挨拶で慰霊祭を終えました。

### 報告 第34回ロシア兵墓地慰霊祭



4月7日、満開の桜の下、平和公園にて第34回ロシア兵墓地慰霊祭が執り行われました。日露戦争の後で捕虜となり、故郷に帰ることなく名古屋の地で亡くなった15名のロシア兵へ祈りを捧げるものです。

参加者全員による黙祷に始まり、主催者として日本ユーラシア協会愛知県連の杉浦会長の挨拶(別掲)、一般社団法人日口友好愛知の会副理事長富田昭雄様の挨拶と続きました。富田様

### ロシア語能力検定試験対策講座

5月12日(日) 愛知民主会館にて

5月26日(日)にロシア語能力検定試験(3・4級のみ)が行われます。これに備えてロシア語検定試験対策講座を開きます。4級レベルでは初級文法の徹底復習を、そして3級レベルではリスニングの練習に特に重点を置いて、ベテランの講師が指導します。検定の直前に効率よく文法を復習し合格を目指しましょう。また検定試験を受験しない方にも文法の復習や現

申し込みはこちらまで:  
日本ユーラシア協会愛知県連事務所  
TEL 052-508-4368  
mail:kokoshka2011@gmail.com

組織・非政府組織「独立ロシア人権メディア・プロジェクト」(OVDF.info)のこの願いを実現するため、私たちが、日本ユーラシア協会ができることは、ロシアのプーチン政権に対し、戦争反対の声をあげて、ロシア軍のウクライナからの撤退を要求し続けること、極寒の地、西シベリアの北極圏で獄死したアレクセイ・ナヴァリヌイ氏のロシア国民へのメッセージ「諦めるな！」ではありませんが、私たちも、これを諦めてはなりません。それと同時に、二度と戦争を起させないために、どうしてこの侵略戦争が起きたのか、また、なぜこれを防ぐことができなかったのかについて、多方面から検討し、ここから教訓を得ることも必要であります。ここで一つ言えることは、人間の命と尊厳をないがしろにするウルトラ・ナショナリズムのイデオロギーに振り回された政治勢力がロシアおよびウクライナの政権の中核部に存在していたことが、その大きな要因の一つであったということであり、そのような政治勢力が今なお政権の中核部に存在していることがこの戦争の早期終結の阻害要因の一つとなっているということも、否定できない事実ではないかと思えます。

この戦争が早く終わり、ウクライナに、さらには世界に恒久的な平和が訪れるのを祈念しまして、私のあいさつを終わることにいたします。どうもありがとうございます。

